

中央中学校だより

文責：北九州市立中央中学校 校長 青木哲也

【夏の暑さ対策】

- 今年の暑さは、特別で体調管理が大切です。次のようなことを励行して、自分の健康を守りましょう。
 - ① 日傘や帽子を使用し、頭部への直接の日差しを遮りましょう。
 - ② 登下校時も、大きな声での会話がなく、ある程度の距離がある時は、マスクを外しましょう。
 - ③ 自身での体温調節と水分補給をこまめに行うことで体温の上昇を防ぎましょう。
 - ④ 首の後ろを冷やす道具や手のひらや皮膚表面を濡らす冷やすことで体温を上手に下げましょう。
- *福岡コロナ警報が出ましたが、今の時点では大きな対応の変更はありません。



【中央中の昼休み】

- 暑いさなかでも、昼休みに遊ぶ姿がたくさん見られます。小中一貫で時制を動かしたために、比較的ゆっくりの昼食時間と昼休みが取れています。多い日は80人近い生徒が運動場で、バスケット、バレー、サッカーに興じています。図書館でも、20名近い生徒が、本を読んでいます。昼休みの当番清掃も並行して進めています。
- 職員室前で教科連絡を調べる人、先生に質問したり、指導を受けたりしている人、多様な姿が見られます。
- 校長室から聞いていると、先生方は、一人一人に合った話し方、伝え方をしています。先生の話や言葉の意味をしっかりと聞き取り、理解して、その背景にある先生の思いに気づいてほしいと願っています。



【ノーチャイムの取組】

- 定期考査の前後を境に、限られた時間だけのチャイム（朝、昼食後、昼休み後、17時）に減らし、ノーチャイムで学校生活を過ごしています。
- 日頃の生活で、多くの生徒は、時間をきちんと守り、時計を見て行動できていたからです。チャイムの音でバタバタする姿は見られません。静寂の中で一日が進んでいきます。できるところは、「任せる」、「力を引き出す」、「減らす」などして、必要のない規制から、自ら行動することへの転換を図っていきます。休み時間の有線による音楽も効果的で、授業後1分で鳴りはじめ、始まる2分前に音楽が止まるようになっていきます。
- 周りの音に耳を澄ませば、新たな発見もあるかもしれません。



【元の日常でない日常へ】

- コロナウイルスの感染状況は、未だに波があります。これまでしていたこととは、異なる着地点を考えて、新しい方法を考える時代が来ています。それがよい方法なのか、知恵を出し合い、議論して決めていくことが大切な時代がやってきています。

【成績と取組】

- 定期考査の結果はどうだったでしょうか。その結果に至った自分の取組や日常を変化させることが大切です。今度は通知表の形でこれまでの評価が出されます。
- 日頃から先生方とたくさん話をして、先生が何を求めているのか、どの程度を求めているのかをしっかりとつかんでおきましょう。わからない人は、「私はどこを、どのように頑張ればよいのですか」とアドバイスをもらうことも大切です。自分も頑張れば、周りも頑張ります。自分の得意を伸ばし、不得意でも嫌いにならない、自分なりの取組み方を見つけましょう。



【夏を前に】

- 学校では、不審者対応の避難訓練をしました。不審な人は、人の目を気にしています。一人にならない、危険に近寄らない、助けを全力で呼ぶなどして、嫌な目に合わないことを願っています。
- また、台風等の風水害も懸念されます。危険箇所（八幡東区のハザードマップ等）の把握が必要です。自然災害は、いろいろとあります。その影響で停電やいろいろなことへの備えも大切です。学校の近くの広域避難所は、高炉台公園になっています。
- 夏休み中は、さらに、インターネット、SNSを介した犯罪が激増します。先日、「LINE」の方によるSNSの書き込みの課題についてオンライン講習会を開いてもらいました。さらに、近日中には、「デジタルシチズンシップ教育」と言われる学習を予定しています。インターネットと共に暮らすこれからの私たちの市民としての姿を考えるとこのような授業を、外部講師をお招きして実施します。



【3年ぶりの水泳授業】

- 水泳授業が始まりました。屋上の誰にも邪魔されないプールのため、暑いこの時期、気持ちよく泳ぐことができています。（皿倉小の温水プールには負けませんが、）
- パッと見た印象ですが、3年生は比較的、皆、上手に泳げていて、バタ足もしっかりできていました。2年生、1年生は小学校高学年での水泳授業がなかったためか、基本の泳ぎの徹底が必要そうです。夏を安全に過ごすためにも、しっかりと泳ぎや危険の対処方法等はしっかりと学んでください。今年は、8月後半も泳ぐ予定を立てています。2、3年間分、頑張ってもらいます。



【環境を活かした学び】

- 11日には、3年生が英語村体験に行きます。八幡小学校6年生も、同じ午前中に訪問予定です。英語の力をアウトプットする場面です。
- 本校周辺は、施設がたくさんあります。今後、一層の活用を進めていきたいと考えています。